# 大阪・神戸視察



2023年2月23日~2月25日 大分ウォーターフロント研究会

# 2023年2月23日 別府港出発 新造船さんふらわあ



# 2023年2月23日 別府港出発 新造船さんふらわあ



# 2023年2月23日 別府港出発 新造船さんふらわあ 基本的に個室のカジュアルクルーズ船 客室例 セミスイート スイートルーム デラックス和室 プライベート・4人部屋 デラックスツイン スーペリアシングル

# 2023年2月23日 別府港出発 新造船さんふらわあ



## 2023年2月23~24日 別府~大阪 新造船さんふらわあ

さんふらわあは、船旅のゲームチェンジャーである。これまでのフェリーの船旅は、エンジンの音が聞こえ揺れる船内で雑魚寝する多少窮屈な旅という思い出がある。ところが新しいさんふらわあは、広く豪華な船内アトリウムなど共用部も客室も、クルーズ船そのものであり、客室は全部個室で私の部屋にはシャワーとトイレも備えられていた。LNGを燃料として脱炭素化を実現しておりエンジンの音は聞こえず快適だった。子ども向け施設や、豪華な女性向けパウダールーム、ペットを連れも乗船できドックランまである。私は大分から関西への移動には、電車や飛行機を優先的に選んでいたが、この快適なカジュアルクルーズ船での船旅を第一候補に格上げしたい。次回、大阪へ行くときも使いたい。18:45出航6:45到着と夜の間の航海となるので瀬戸内海の風光明媚な景色を見られないことが多少残念である。さんふらわあの大分・神戸路線も今後大型化したカジュアルクルーズ船の就航を期待したい。



# 2023年2月24日 水都大阪コンソーシアム訪問



[2017~]

#### 水と光のまちづくり推進会議

如事、市長、大商会頭、関経連会長、同友会代表幹事、 観光局理事長、学識者



基本方針の提示

#### 水都大阪コンソーシアム(SOC)

<構成団体>

経済界(大商·関経連·同友会)

行 政(大阪府・大阪市)

観光局

舟運団体

学 識

<事務局> 企業出向等+行政(府市)

大阪商工会議所、大阪府、大阪市、大阪ガス、関西電力、京阪電鉄、サントリー

争考况后

増加するインバウンド等を踏まえ、公民の力を結集し、多くのプレイヤーの参画を促すネットワーク型組織の立ち上げ

- **◆特部** 
  - 1 金民共通のブラットホーム

公民一体となりプランニングからアクションまでを実践

2 大阪観光局や舟道団体が参加

舟運の充実やインバウンド対応を含むプロモーションの強化

6

#### 2023年2月24日 水都大阪コンソーシアム訪問



#### 2023年2月24日 水都大阪コンソーシアム訪問

水の都、大阪の魅力を増すための活動として、水辺魅力創出、舟運活性化、観光、ブランディングなど 水辺のコーディネーターを務めている。

水都大阪コンソーシアムは、民間企業からの出向者と大阪府、大阪市からの出向者の公民連携プラットフォームで運営しており参考になる。職員は官民からの出向者で運営費は行政が負担している。 民間からは出向者の費用を負担することから官民での運営としている。

今後、大分港でも西大分地区賑わい創出地域会議が開催されるがこのコンソーシアムは参考になると思う。





2009年の展示 フロレンタイン・ホフマンのラバーダック

# 2023年2月24日 2025年日本博覧会協会 訪問



#### 船客向け万博ツアーの造成

昨年の意見交換会で大分・大阪航路の さんふらわあクルーズが加わる

等

#### 〇クルーズ・フェリー乗船者向けのツアーや万博を含めた 魅力的な観光商品を造成(船社・旅行会社様等と連携)

- ・海路上での魅力的な観光素材の整備、連携 (瀬戸内芸術祭等)
- ・寄港地での魅力的な観光商品造成
- 「フライ・レール&クルーズ」など様々な交通機関と 連携した新たなルート整備による広域周遊促進
- ・クルーズシップの検討



#### 2023年2月24日 2025年日本博覧会協会 訪問

昨年11月に別府湾岸官民交流会議で万博について講演を聴いているが、その後の動向と合わせて意見交換 を行った。万博会場と全国各地を繋げることについて、地方からは特に子ども達に修学旅行で万博へ来て もらい未来社会の展示を通じて、自分たちの未来について考えてもらいたい意向。

万博のインバウンドについてはアジアと欧米では欧米比率が高くなる見込み。万博から地方への誘客に ついての具体策として、瀬戸内DMOと協議している。

また福竹財団と瀬戸内国際芸術祭とアートの連携について協議している。大分もアートでイン別府の取り 組みで一緒に連携することの提案を受けた。愛媛県を含む瀬戸内をアートでつなぐことなどを話し合った。 研究会からも開催1年前に福岡大分デストネーションキャンペーンを行うので万博とアピールの協働の 提案を行った。









設計は藤本壮介、大分のホーバークラフトターミナルの設計士



万博博覧会協会の資料より

# 2023年2月24日 アジア太平洋トレードセンター (ATC) 視察



# 2023年2月24日 アジア太平洋トレードセンター (ATC) 視察

40年前に大阪市が埋め立てし1,300億円かけて建設されたATCは、国内外の卸売業者が関税なしで商取引ができることを目的としたトレードセンターであった。卸売りという商慣習が変化したことや賃料が高いということなどから入居者が減り破綻した。その後再建され商業施設も集積しコロナ前で700万人/年の来館者がある。ATCあそびマーレは、子ども向け屋内型遊園施設で6,700m2と桁違いに広く体験型遊具施設が面白い。卸売りから業態が大きく変貌している。商業施設だけでなく7,000m2の多目的ホールや

コンベンションルームなどイベント対応などの潜在能力も高い。

フェリーさんふらわあの本社も神戸からATCへ移転したばかりである。 さんふらわあの大阪港とも直結した施設であり利活用が期待される。



# 2023年2月25日 神戸ウォーターフロントビジョン 視察 神戸ポートミュージアム 第1突堤基部再開発 第1突堤基部 ・fwinery [エフ 2021.10.22開業 ベイシティタワーズ神戸

# 2023年2月25日 神戸ウォーターフロントビジョン 視察



# 2023年2月25日 神戸ウォーターフロントビジョン 視察





キースケープ 写真撮影のスポット 世界中のインスタ映えする場所に増えている





JTBの安部さんと神戸キースケープ このような写し方が良いかも

# 2023年2月25日 神戸TOOTH MART 視察



# 2023年2月25日 アートアクアリウム(atoa) 視察



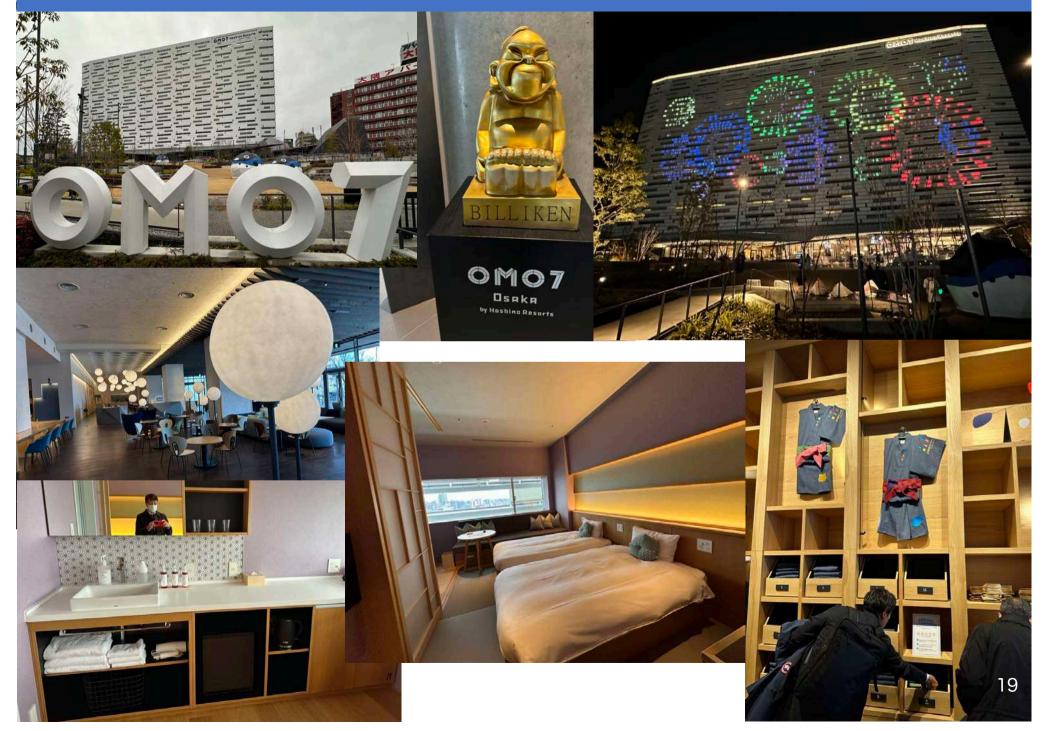
# 2023年2月25日 神戸市ウォーターフロントビジョン 視察

神戸市港湾局の出先機関としての(株)神戸ウォーターフロント開発機構の役割が面白い。 ウォーターフロントエリアへの進出希望事業者とまちづくり団体や既存進出企業との調整を図り持続可能な 開発へと導いている。視察したエリアでは2億円台のマンションを分譲する不動産事業者が中心となり区画内 にフェラーリやBMW、miniのショールームを誘致して高付加価値イメージの相乗効果を出していた。 また、一般集客施設としてアートアクアリウム(atoa)や高級洋菓子やDJなど特色のあるフードコートなど 魅力的な施設となっていた。不動産事業者の立場からはマンションをメイン商品として周辺環境を整備する ことでイメージが上がり、神戸市民にとってもウォーターフロントエリアの楽しみ方が増えていき、他の エリアとも合わせてシナジー効果が生まれていた。





# 2023年2月24日 OMO7大阪



# 2023年2月24日 OMO7 ほないこか、ツウな新世界散歩



# 2023年2月24日 OMO7大阪 なにわ串キュイジューヌ









# 2023年2月25日 OMO7大阪 ええだし出てますわツアー 大阪出汁を知るには昆布から 2 鰹節店の○○な話し!! 3 大阪発祥?かすうどんの秘密 4 伝統の味!なにわもんのお野菜 5 旨味には欠かせない乾物商品 6 実はこれも?お豆から取れる出汁 7 出汁文化の宝庫ODA OMO7 OSRKR by HOSAline Reserts **多月3000分音為用於以平松直在** 大阪産8

#### 2023年2月25日 OMO7大阪 下町人情テーマパークOMO7大阪

OMO7大阪は、その創造性で地域の課題(治安と労務者の高齢化による人口減少、商業衰退)を解決している。星野リゾートが、関空や万博会場などへのアクセスを考えて最適な場所にと新今宮を選び、ホテルを建設したのがOMO7大阪。通りを挟んだエリアは、過去暴動が何度も起こった、かの有名な日雇い労働者の街「あいりん地区」である。とはいえ近所の新世界エリアは昭和イメージが残るディープな大阪は楽しい。ホテルスタッフ(OMOレンジャー)がご近所のマチと店を案内する「ほないこか、ツウな新世界さんぽ」、射的、楊弓、碁会所、うどん160円の店、大阪のおばあちゃん御用達の豹柄服の聖地なる店など、これが本当に現代の日本か!と思うようなマチにびっくり。新世界の飲食店は串カツが中心。ホテルの食事も串カツをオマージュしたフレンチのメニュー「なにわ串キュイジーヌ」はおいしくて創造性に溢れていた。大阪の染色町工場の社長によるワークショップや、近所の公設市場の店をめぐり大阪の出汁文化を知る「ええだし出てますわツアー」など、マチと地域の人をつなぎ共に活性化をはかる新しい形態のOMOホテルは楽しい。











